

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由		
家計動向 関連  (四国)	良くなる やや良くなる	-	-		
		商店街（代表者）	・量販店や食品ス・パ・の過当競争が更に厳しくなる。		
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・今が悪すぎるため、今よりは良くなるのではないかと思う。		
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・予約商品の単価が例年並み、あるいは少し低い程度で安定している。注文数も昨年と同じくらいになると予想している。		
		百貨店（営業担当）	・駐車場が整備されるなど店舗周辺の環境が良くなったため、これから来客数や購入動向も変わってくると思う。		
		百貨店（営業推進）	・政府の景気対策の効果が現れて、これから景気が良くなると思う。		
		コンビニ（店長）	・建設業関係者は客単価が高いので売上が増加している。それに伴って、好循環で回り始めるのではないかと期待している。		
		コンビニ（商品担当）	・政府の経済対策が小売業にまで及ぶのは半年程度遅れると思われるが、少しは消費者の財布のひもは緩んでくると思う。		
		乗用車販売店（従業員）	・景気は良くなると思うが、ガソリン価格の高騰や電気料金の値上げなどの物価上昇が足を引っ張らないでほしい。		
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・春から夏にかけては一番よく売れる時期である。		
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・引き続き、わずかながら売上増加を見込んでいる。		
		タクシー運転手	・これから企業の歓送迎会や新入学生などの利用が増えると思う。		
		通信会社（企画）	・例年に比べて高額商品への関心が高くなってきている。		
		観光名所（職員）	・円安の影響によって、海外旅行から国内旅行へシフトすることが予想される。		
		競艇場（職員）	・引き続き堅調に推移するものと思われる。大きなレースも控えており、盛り上がり期待できる。		
		設計事務所（所長）	・中心部の遊休地に、建物が建ちはじめた。		
		設計事務所（職員）	・今年度の残業務と次年度にかけての2か年継続の業務量が相当あり、年度が変わっても相当量の仕事を抱えられそつである。例年は年度明けから売上が低下していくが、新年度は低下することなく横ばいからやや増える程度になると予想している。		
		変わらない		商店街（代表者）	・消費マインドが上昇し、ここ数か月は良くなってきているが、今以上に、消費者の財布のひもが緩くなることはないように思う。
				商店街（事務局長）	・株高や円安による企業業績の改善が一般消費者の消費行動とは結びついていない。消費税増税前の駆け込みが起きるまでは、大きな消費行動に移行することはないように思う。
一般小売店〔酒〕（販売担当）	・景気回復の兆しはあるが、まだまだ消費者の財布のひもは緩んでいない。小売業は本当に厳しい。				
一般小売店〔菓子〕（総務担当）	・生活費や遊興費などの個人消費を後押しする景気材料が見当たらない。				
百貨店（総務担当）	・婦人・紳士衣料など身の回り品の需要が低調であるため。				
スーパー（店長）	・景気が好転する要素が見当たらない。				
スーパー（企画担当）	・3月には業界トップのコンビニチェーンが四国に初進出するなど、スーパー・コンビニ・ドラッグストア等による厳しい競争が更に過熱しそうである。				
スーパー（人事）	・政府の経済政策で、見た目の景気は回復しつつあるが、消費者の生活に反映されるには1年かかるだろうと予想する。				
コンビニ（総務）	・天候や気温に左右されるが、身の回り品の動向が先行き不透明なため今後も変わらない。				
衣料品専門店（経営者）	・3月中旬までは気温の低い日が多く春物衣料は厳しいと思う。3月下旬から、4月にかけてに期待したい。				
衣料品専門店（総務担当）	・消費マインドの低下が年末から顕著になっており、今年に入ってより強くなっている。景気が本格的に回復するとは思えない。				
家電量販店（店員）	・来客数が増減する要因が無いので、ほぼ変わらないと思う。				
乗用車販売店（従業員）	・エコカー補助金の反動で、売上は前年比約70%だが、車の受注は増えている。良くもならないが、悪くもならないと思う。				

	乗用車販売店（従業員）	・トータルの新車販売台数は減少するが、燃費の良い車の販売比率の高まりは今後も続く予想され、ハイブリッド車の販売台数が減ることは少ないと思う。	
	乗用車販売店（役員）	・新型車効果などによって現在より良くなっていくと思うが、自動車業界は今年は前年比で2割落ち込むという話もある。政府の経済対策に期待したい。	
	住関連専門店（経営者）	・株価上昇と円安により、将来的に少し期待している。	
	観光型旅館（経営者）	・2～3か月先の予約状況はあまり良くない。時期的要因もあるが、まだ国内旅行は増えていない。	
	都市型ホテル（経営者）	・これから先の予約状況は、良くもなく悪くもないという状況であり、あまり変わらないと思う。	
	旅行代理店（支店長）	・円安の影響で海外旅行は落ち込むと思われるが、景気回復への期待が増せば、国内旅行に期待できる。	
	ゴルフ場（従業員）	・これからゴルフシーズンに入るが、3か月先までの予約状況は厳しい。また、単価も下落しており、現在とあまり変わらない悪い状況ではないかと思う。	
	美容室（経営者）	・公共料金やガソリン等の値上げが消費マインドにどのような影響を及ぼすか懸念される。	
	美容室（経営者）	・スタッフの補充をする余裕はないため、現状より良くなることは難しい。	
	住宅販売会社（従業員）	・景気が良くなって、所得が増えないと、住宅ローンの審査が通りにくいため、販売量増加にはつながらない。	
やや悪くなる	スーパー（統括担当）	・株価は上昇しているが、消費者の購入単価が下落している状況が続いており、今後も変化があるとは思えない。	
	スーパー（財務担当）	・円安による原材料や仕入れ商品の値上がり分を、販売価格に反映させることで、消費行動に悪い影響が出ると考える。	
	乗用車販売店（営業担当）	・2～3月の最需要期を過ぎると、良くなる要素が全く無い。	
	通信会社（営業担当）	・年間最大の商戦期である3月が終わると、例年同様に落ち込むと予想する。	
悪くなる	スーパー（店長）	・電気料金が値上がりすると、消費者は買い控えに動くのではないかとと思う。	
	衣料品専門店（経営者）	・原油価格の高騰や電気料金の値上げ、また政府のインフレ誘導で物価が上がっていくことが予想されるため、所得が増えない現状では悪くなる要素しかない。	
良くなる	食料品製造業（商品統括）	・円安・株高によって、景気が上向く実感が湧きつつある。	
企業動向関連 (四国)	やや良くなる	繊維工業（経営者）	・高額なインテリアを扱うセレクトショップといった新規取引先が増加している。市場にも低価格商品を求める傾向がある一方、高価格でも顧客満足度の高い商品を求める傾向も高まっている。これはこだわりのモノ作りを追求する製造業にとって力強い傾向であり、今後、海外市場を含めて明るい材料である。
		木材木製品製造業（経営者）	・季節要因もあるが4～6月にかけて前年比プラスの良い状態が続くと思う。
		鉄鋼業（総務部長）	・年末からの円安効果が当社に波及するのは早くても秋以降になると予測する。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・円安が継続・定着すれば期待できるが、現状は期待先行の面があり、揺り戻しの動きが懸念される。
		輸送業（経営者）	・雰囲気の良いを感じるため。
		通信業（部長）	・円安が直接需要に結びつくにはまだ時間がかかると思うが、政府の金融政策全般への期待度も高まっており、徐々に良くなる傾向を感じている。
		金融業（融資担当）	・急激な改善はないとしても、景気回復の影響が少しずつ現れてくると予想するため。
		不動産業（経営者）	・これからも政府の政策や税制等の改正が見込まれており、今以上に需要が増えていくと思う。
		公認会計士	・政府の経済政策で、株価も上昇し、経営者の気分が少し上向いている。将来的には不動産等の価格も上昇するのではという話も経営者から出ており、経営者の考え方が少し前とは変わってきている。
変わらない		農林水産業（総務担当）	・気温上昇により消費量は上向く。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・年度末を迎えるが、思ったほど受注が増加してこない。全体的にはまだまだ状況は悪いと思う。
		電気機械器具製造業（経理担当）	・国内受注は1～3月期の反動で、4～6月期は一時的に落ち込みそうである。海外受注は、ほぼ計画どおりだが、円安の影響により上振れを見込む。トータルではあまり変わらない。
		建設業（経営者）	・わずかな期待はあるが、2～3か月ではまだ変わらない。

		建設業（総務担当）	・景気回復は期待できるが、受注価格に反映するにはまだ相当期間が必要と判断する。
		広告代理店（経営者）	・景気が上向くことが期待され、広告も復活あるいは増加の期待感がある。しかし、地元資本の得意先の広告費増加にはまだ時間がかかると思う。
	やや悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・再生可能エネルギーの買取価格が4月から値下がりするという話がある。そうすると当社の受注は落ち込むことが予想される。
	悪くなる	輸送業（支店長）	・他社による運賃ダンピングや取扱量の減少、また、燃料価格の高騰により収益悪化に拍車がかかる。
雇用 関連  (四国)	良くなる	求人情報誌製作会社（従業員）	・異動時期になり求人数の増加が見込まれる。
	やや良くなる	人材派遣会社（営業担当） 職業安定所（職員）	・年度末や夏季の需要などに伴い、求人の増加を期待したい。 ・月間有効求人倍率が、先月と比較して0.02ポイント上昇している。また、前年同月と比較しても、0.20ポイント上昇している。
	変わらない	人材派遣会社（営業）	・円安や原油高騰などが消費意欲を抑制する要因として景気はどこまで影響するかが不透明である。また、4月の労働契約法改正に伴い、企業が有期契約者の取扱をどうするのが間接的に景気に影響すると考える。
		求人情報誌（営業）	・地場の中小企業でも、少しずつ人材の採用数が増えてきている。しかし、増えているのが非正規社員というところが引っ掛かっている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・県などの予算執行が始まると現状よりは上向くと思うが、円安株高の恩恵を受ける企業が当県には少ない。ガソリンやそれに伴う各種製品の値上がりや電気料金の値上げが近づくなど、負の影響が先行し、消費者は家計防衛に傾くのではないかと思う。
		民間職業紹介機関（所長）	・3月の決算時期を控え、最後の利益確保に向かって動いている企業が多く、景気が良くなる要素はなかなか見つからない。
		学校〔大学〕（就職担当）	・来年度向けの求人は順調に増えており、昨年より多い。しかし、企業の採用活動が短期集中になってきていることを考えると楽観視はできない。
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・年度末を迎え、公共事業の終了や、大型官製談合事件の影響による離職者が発生することが予想される。
悪くなる	-	-	